

ちょっと気になる 健康の話

子どもの目の病気 結膜炎

結膜炎とは

結膜に炎症が起こって充血やかゆみ、涙や目やになどの症状を起こすのが「結膜炎」です。このうち大きくわけて、感染性結膜炎とアレルギー性結膜炎があります。



感染性結膜炎

●原因

細菌やウイルスによる感染が原因。細菌性結膜炎の原因菌はインフルエンザ菌、肺炎球菌、黄色ブドウ球菌。ウイルス性結膜炎の場合、アデノウイルス、エンテロウイルス、ヘルペスウイルスなどが原因。特にアデノウイルスが原因となる流行性角結膜炎（はやり目）や咽頭結膜熱（プール熱）が多く見られます。

●症状

通常、感染から7～10日程度の潜伏期間を経て発症。結膜に充血が生じ、目やにが多く出ます。ゴロゴロした異物感や痛みが出ることも。風邪のような症状を伴うことがあり、ウイルス性結膜炎の場合にはリンパ節が腫れたりすることもあります。流行性角結膜炎は目の症状が強く出ることが多く、一時的に角膜に濁りが生じたりすることがあります。咽頭結膜熱の場合は喉の痛みや発熱などの症状が強く出ます。

●治療

細菌性結膜炎の場合にのみ抗菌薬が有効。ウイルス性結膜炎の場合には特效薬はなく1～2週間自然治癒を待ちます。

●予防

ウイルス性結膜炎は感染力が非常に強く、集団感染を引き起こすことが、流行性角結膜炎の場合には医師の診断により周囲への感染力がなくなったと判断されるまで、咽頭結膜熱は主要症状がなくなった後2日経過するまで登校が禁止されます。直接的感染予防法としては、よく手を洗うこと、タオルやハンカチを共有しないこと、感染者は最後にお風呂に入るかシャワーで済ませることなどが挙げられます。

アレルギー性結膜炎

●原因

アレルギーとは、本来無害なものに対して免疫系が過剰に反応してしまうこと。スギ花粉がよく知られますが、ヨモギ、ブタクサ、ヒノキなどの花粉、ハウスダスト、ダニなども原因と言われます。

●症状

代表的な症状はかゆみ。かくほど症状が強くなることがあるので、適切な治療でかゆみを抑える必要があります。充血やごろごろとした異物感、涙もよくみられる症状。

●治療

症状を鎮めるための対症療法としては、抗アレルギー薬の目薬を使用するのが一般的。アレルギーのもとを抑える原因療法としては、アレルギーの原因（抗原）がわかっている場合にその抗原を少しずつ濃度を高くしながら投与し、徐々に体に慣らしていく方法があります。

●予防

花粉症の場合は、症状の出やすい時期に花粉との接触を避ける工夫が必要。目を覆う眼鏡やマスクの着用が有効です。ダニやハウスダストについては部屋の清潔を心がけ、寝具を干しましょう。



ちょっと小鼻

ものもらい

昔は「ものもらい」、「めもらい」と呼ばれていて、他人から感染するという認識でしたが、実際は、霰粒腫、麦粒腫、マイボーム腺梗塞・マイボーム腺炎という病気で、まぶたの周りが不衛生になることで起こる炎症。細菌によって起こり、感染性はないという…

